

こま学級 第1学年 道徳学習指導案

日時 令和4年10月1日（土）
 多摩市立東寺方小学校
 こま学級1組
 授業者 臼井 明子

- 資料名 「ありがとうがいっぱい」内容項目 （感謝）
- ねらい 児童の日常を支えてくれている人に感謝の気持ちをもつ「わたし」の姿を通して、学校や家庭でどんなときに、どんな人にお世話になっているかについて気付き、その人たちに感謝するとともに、その感謝の気持ちを言葉などで伝えようとする態度を育てる。

3. 展開

	学習活動 主な発問○と予測される児童の反応・	指導上の留意点
導入 5分	1. 家や学校での生活風景を思い出す。 ○みんなは、おうちや学校でどんなことをしていますか。（イラストや写真を提示） ・ご飯 ・給食 ・学校に行く ・体育 ・お風呂 ・そうじ	・視覚教材を提示することで、イメージを明確にし、言葉を引き出す。 ・家や学校など、イメージしやすい場面を題材とする。
	かんがえよう どんなときに、どんなひとに お世話になっているのかな。	
展開 30分	2. 「ありがとうがいっぱい」を読み、意見の交流や役割演技をする。 ○みんなは、どんな人に「ありがとう」と言いたいですか。 ・家族の名前 ・用務員さん ・給食の先生 ・保健室の先生 ◎「ありがとう」の気持ちを込めて、カードを渡しましょう。 ・いつもご飯を作ってくれて、ありがとう。 ・パンソーコーを貼ってくれて、ありがとう。	・生活の中で自分を支えてくれている人がたくさんいることや、その人たちの存在に気付かせる。 ・「ありがとう」と相手に伝えると、「ありがとうメーター」が満杯になることを伝え、学習意欲を高め、集中を維持できるようにする。 ・渡したい相手が近くにいる場合は実際に相手に手渡す。
	3. 「ありがとう」を言ったり、言われたりすると、どんな気持ちになりますか。 ・嬉しい ・笑顔カードを選択する	・受け取った人にインタビューをする。 ・「ありがとう」の言葉は、相手も自分も嬉しくなる言葉であることに気付かせる。表情カードで嬉しい気持ちが視覚的に分かるようにする。
終末 10分	4. どんなときに「ありがとう」を言えればいいか、動画を見て学習する。	

